

2025 年度中部支部活動報告
「南アジア諸国(ネパール等)からの留学生の来日背景とキャリア支援」

主 催：公益社団法人日本語教育学会

開 催 日：2025 年 9 月 20 日（土）13:00～15:30

会 場：星城大学 名古屋丸の内キャンパス

参加人数：32 名（会員 19 名、一般 12 名、関係者 1 名）

9 月 20 日（土）、星城大学丸の内キャンパスの星城ホールにて、中部支部活動「南アジア諸国(ネパール等)からの留学生の来日背景とキャリア教育」を開催しました。講師には、Women for Women Nepal 代表・名城大学および聖心女子大学非常勤講師のトゥラダール アスタ先生、さらに株式会社 REN 代表取締役 樋口広布先生をお迎えし、講演会を実施しました。

講演①では、トゥラダール アスタ先生より、『日本語を学びに日本へ留学するネパール人留学生、彼らにとってのチャレンジ・プロフィット・ロス、日本が気づいていないポテンシャル』というテーマで、日本留学を目指すネパールの若者の背景や特徴をお話してくださいました。アスタ先生のこれまでのご経験を踏まえ、ネパール人留学生が共通に抱える課題を取り上げ、よりよい留学支援へのご提言、例えば来日前後のオリエンテーションの実施、母語サポート体制の充実、メンタルヘルス支援の重要性など、今後も日本が留学先として選ばれ続けるためにはという視点からご示唆頂きました。

続いて講演②では、外国人の日本留学、留学生の来日後のキャリアを支援すべく教育機関へのコンサルティング事業を展開されている樋口先生より『日本語学校が抱える課題の整理と解決策について～留学生の進路決定から紐解くこれから必要な取り組み～』というテーマでお話を伺いました。近年の留学生の多様化は、出身国の多様化のみならず、目的意識の不明瞭さや発達障がいを抱える人など実に様々で、こうした留学生を抱える日本語学校が共通に抱える課題にキャリア支援があるとのことでした。多様化する留学生に対応できるノウハウや専門性がなく、どの学校も情報不足で対応に苦慮しているということでした。

講演会後は、講師と参加者、また参加者同士の交流・ネットワークの創出を目的に交流の場を設けました。同じ地域のネットワーク作りにつながったというお声も頂け、有意義な交流の機会となりました。

事後アンケートは回答数が少なかったものの、全体的に「満足」、「大変満足」の回答を頂きました。日本にいては知ることのできないネパールの事情や情報を得ることができた、他の日本語学校の事情が聞けてよかった、今後留学生を理解し支援する上で役に立つ情報を得られた等のご意見、さらに、今後もこのような機会を設けてほしいとの回答も頂きました。

最後になりましたが、この場をお借りし、本支部活動にご参加くださった皆様、そしてご協力くださった関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

（報告者：中部支部活動委員 鈴木崇夫・松本美紀）

